

第2回（2025年度）がん登録標準化専門委員会 議事要旨

日 時：2025年5月27日（火）13：30～15：05

場 所：Web 会議（Zoom）

出席者：松田智大、寺本典弘、宮代勲、伊藤秀美、藤阪保仁、柴田亜希子、堀芽久美、中林
愛恵、西田一典、梅沢淳（順不同、敬称略）

オブザーバー：江森佳子、伊藤桂、小野綾美、高橋ユカ（順不同、敬称略）

I. 挨拶・情報提供

がん登録センター長 松田より、開催の挨拶とがん登録センターの組織改変について紹介があった。

II. 報告事項

中央登録室長 中林より、今年度の都道府県がん診療連携拠点病院がん登録部会と都道府県がん登録担当者連絡会を、6月18日に同時開催することについて報告。

III. 検討事項

1. 院内がん登録標準登録様式の更新について

【協議事項】

- 全国がん登録届出マニュアル【12：治療施設】3：初回治療継続 に、造血器腫瘍以外の「経過観察」の継続は含まないことの明記及び公表
- 死体解剖で初めて診断された場合は、院内がん登録標準登録様式（以下「標準登録様式」という。）【410：治療施設】8：その他 を選択することを院内がん登録実務者に指導
- 標準登録様式【410：治療施設】「8：その他」は、死体解剖以外の症例にも使用
全国がん登録では、「8：その他」は死体解剖で初めて診断された場合のみを想定しており、それ以外の症例は他の区分に分類することを検討（初回治療期間中に、縮小・切除目的でない症状緩和治療のために転院した場合等）
- 本来の運用ルールと現状に乖離があるため解釈の統一化

2. ICD-O3.2 コード表の注釈変更について

（1）扁平上皮内腫瘍Ⅱ度の注釈

【協議事項】

- ICD-O-3.2 コード表への注釈の追記

（2）LAMN の扱い

【協議事項】

- LAMN は、2022年症例からルール F を用いて「8480/2」で登録していたが、ルール F 廃止に伴い、ICD-O-3.2 の注記を削除

- LAMN に「8010/2」を付与するのは情報の粒度が荒くなるため不適切。漿膜下層以深の浸潤や遠隔転移が認められる場合は「8480/3」で登録、それ以外の場合は上位概念のコードである「8140/2」で登録することを検討
- 遠隔転移がある「Tis」症例の登録方法や性状コード「/1」使用の可否についての検討
- 実務者への説明方法の検討

(3) ルール F 廃止に伴う確認事項

- 「/1」や日本独自コードの使用は国際的にみてもがん登録の原則から逸脱するため、全国がん登録では、ICD-O-3 に掲載されている性状コード「/2」「/3」のみを登録対象とすることを原則化
- 表現の違いや診断の慣習を考慮しつつも、「/1」は原則として登録対象外
- 臓器がん登録との整合性を理由に独自コードやルール F を用いて対象としていた経緯があるため、臓器がん登録との齟齬がないように関連学会等との連携強化を検討

3. 胃の部位別テキストの Tis の記載について

【協議事項】

- 胃の部位別テキストへの「Tis」の追加に関する検討

4. ラズベリー様腺窩上皮型腺癌について

【協議事項】

- 病理組織診断に「ラズベリー様腺窩上皮型腺癌/foveolar-type gastric adenoma」と併記されており、医師が「がん」と診断し治療を実施している場合は、診療の実態にあわせて登録対象とすること

5. 遺伝子変異等情報の追加登録項目について

【協議事項】

- 現在のがん登録は一次治療のみを対象としており、それ以外の情報が記録されにくいいため、今後も一次治療だけの登録を続けるのか、がん登録の在り方、体制や目的の見直しについて検討（全国がん登録での追加データ収集は困難だが、院内がん登録であれば将来的な収集は可能ではないか等）

6. その他

今年度の標準化委員会の開催、来年度からの研修会、がん登録部会について、情報共有された。

閉会